



前進

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎避難訓練の実施

朝の肌寒さが、初冬の訪れを感じさせます。11月22日（金）に、火災発生に対応する避難訓練を実施しました。3校時に家庭科室で火災が発生したという設定で非常ベルがなり、運動場に一斉に避難しました。1・2年生の子供たちも、真剣かつ無言で上手に避難ができました。

消防署の方のお話の後、消火器訓練を行いました。冬は暖房器具等を使用する機会も多く、火災の発生が心配される季節です。各ご家庭でも火事の防止に十分注意下さい。最後に消防車や救急車の見学もでき、有意義な避難訓練でした。



◎アウトリーチ事業

毎年芦北町ではアウトリーチ事業を実施し、各小学校で演奏家の方に40分程度のミニコンサートを実施いただいています。佐敷小学校では、毎年6年生が鑑賞しています。

今年は11月20日（水）に、コントラバス奏者の亀子政孝さんが来校され、子供たちの間近で演奏していただきました。曲目は「エンターティナー」「動物の謝肉祭より『象』」などでした。特に「アメイジンググレイス」の演奏は、感動的な言葉と共に、気持ちのこもった演奏をして下さいました。最後のお別れの曲はなんと「ゴジラのテーマ」で、ゴジラの声らしきものを演奏しながら、音楽室から去って行かれました。

「6年生の聴き方はとても素晴らしかったですね。」とお褒めの言葉もいただきました。来年はどんな楽器の演奏が聴けるか、今の5年生は楽しみですね。



◎「つなしの祝い」を今年もいただきました。

11月6日（水）に芦北地区更生女子保護司会の方々が来校され、4年生の子供たちにお餅とお祝いの品を寄贈いただきました。「つなしの祝い」とは、ひとつ、ふた

つと数を数えるときに十からは「つ」の文字が入らないことから、十歳までの成長を祝って行うものだそうです。「二分の一成人式」の意味も含まれているとのことでした。

「皆さんの成長を地域の方はしっかりみています。応援していますよ。」と声をかけていただき、大変心温まるひとときとなりました。本当にありがとうございました。



◎音楽発表会に向けて頑張りました。

「つなしの祝い」で地域の方に励まされていた4年生ですが、音楽発表会に向けても精一杯頑張りました。特に合奏のパート練習と、合唱練習は「地域学校協働活動」のメンバーで音楽に秀でた方々が何度となく来校され、きめ細やかにご指導いただきました。



最初は楽譜も十分読めなかった子供たちも、回数を重ねるにつれて自信を持って演奏したり歌えたりできるようになり、11月15日（金）の音楽発表会でも堂々としていました。発表後のやりきった子供たちの表情が印象的でした。

◎「お茶のカジハラ」さん見学

11月26日（火）に3年生は桑沢見の「お茶のカジハラ」さんに見学に行きました。総合的な学習の一環で「地域の食を支えている人」を調べていることから、今年も見学させていただくこととなりました。あいにくの雨模様でしたが、ご自宅でお話しいただいたり大切に受け継いでこられた機械を見せていただいたりしました。伝統を受け継ぎながらもさらにより良いお茶づくりを目指しておられる生産者の姿に触れることができる貴重な見学になりました。



【校長室から】今回はご紹介できませんでしたが、この他にも4年生は学校運営協議会委員の芥川様に花東地区の獅子舞について講話いただいたり、6年生は二見で地層見学を行ったり、様々な教育活動を行いました。2学期に学んだことの一部は、12月14日（土）の学習発表会でご覧に入れられるのではないかと思います。子供たちの頑張りを見ていただける良い機会になればと思います。